

MSRpro Ver.6
クイックスタートマニュアル
(形式:MSR2K-V6)

NM-7405-H 改4

目 次

1. はじめに.....	3
1.1. 概要.....	4
1.2. ご使用上の注意事項.....	5
2. ご使用になる前に.....	6
2.1. インストール／アンインストール.....	6
2.1.1. インストール.....	6
2.1.2. アンインストール.....	6
3. 直流電圧を測定する例.....	7
3.1. 接続構成.....	7
3.2. 操作の流れ.....	7
3.3. ソフトウェアのインストール.....	8
3.4. 接続.....	8
3.4.1. R3-NE1 の機器の設定.....	8
3.4.2. 各機器との接続.....	9
3.5. MSRpro-Builder の操作.....	11
3.5.1. システム設定.....	12
3.5.2. ステーション&ノード設定.....	13
3.5.3. グループ設定.....	13
3.5.4. ペン設定.....	14
3.6. MSRpro-Server の操作.....	15
3.6.1. MSRpro-Server 起動.....	15
3.6.2. 機器との接続を行う.....	16
3.6.3. データの表示.....	17
3.7. MSRpro-Client/Analyzer の操作.....	18
3.7.1. MSRpro-Client/Analyzer の起動.....	18
3.7.2. サーバーとの接続.....	19
3.7.3. トレンド画面の表示.....	20
3.7.4. 過去データの表示.....	21
3.7.5. CSV データへの変換.....	23
3.8. MSRpro-Report の操作.....	24
3.8.1. MSRpro-Report の起動.....	24
3.8.2. システム設定.....	25
3.8.3. サーバーとの接続.....	25
3.8.4. 帳票作成.....	26
4. アラームを設定する.....	27
4.1. アナログアラームを設定する.....	27
4.1.1. MSRpro-Builder の設定.....	27
4.2. デジタルアラームの設定.....	28
4.2.1. アラーム履歴の表示.....	29
5. 付録.....	30
5.1. 管理者権限で実行.....	30

1. はじめに

このたびは、弊社の **MSRpro** をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本取扱説明書は、2048 チャンネル対応クライアント/サーバ形 PC レコーダソフトウェア (形式: MSR2K-V6) がもつ機能をご使用いただくための操作方法について説明しています。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

本取扱説明書は **MSRpro** のクイックスタートマニュアルです。データ収録までの一連の操作について簡潔に説明しています。詳細な機能の説明につきましては、各ソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。

なお、**MSRpro** の説明書として、以下の説明書を用意しています。あわせてお読みください。お買いあげの CD に収納されています。

名称	番号	内容
MSRpro 共通取扱説明書	NM-7405	システム環境や機器との接続方法について説明しています。はじめにお読みください。
MSRpro クイックスタートマニュアル	NM-7405-H	良く使われる操作やデータ収録までの一連の操作について簡潔に説明しています。
MSRpro-Builder 取扱説明書	NM-7405-A	MSRpro-Builder の機能と操作方法について説明しています。
MSRpro-Server 取扱説明書	NM-7405-B	MSRpro-Server の機能と操作方法について説明しています。
MSRpro-Client/Analyzer 取扱説明書	NM-7405-C	MSRpro-Client/Analyzer の機能と操作方法について説明しています。
MSRpro-Report 取扱説明書	NM-7405-E	MSRpro-Report の機能と操作方法について説明しています。
MSReco 取扱説明書	NM-7405-F	MSReco の機能と操作方法について説明しています。
MSReco-Client 取扱説明書	NM-7405-G	MSReco-Client の機能と操作方法について説明しています。
MSRpro 用一括設定ツール 取扱説明書	NM-7405-D	Excel を使用する MSRpro 用一括設定ツールの機能と操作方法について説明しています。 ソフトをインストール後、取扱説明書がご覧頂けます。

本書の内容は、ユーザー各位のご要望や品質性能の向上にともない、予告なく変更させていただく場合があります。

1.1. 概要

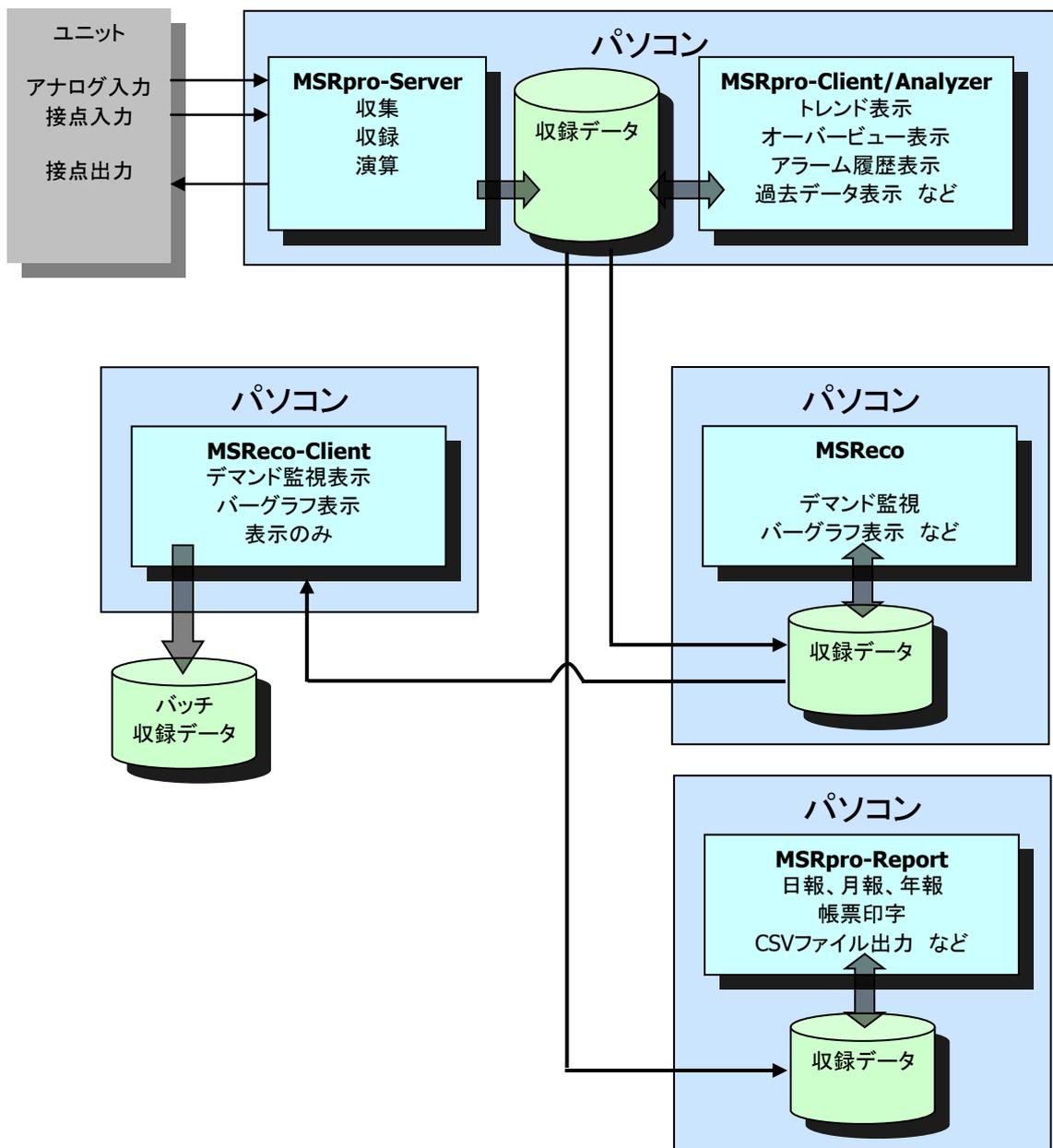
MSRpro は、パソコンの LAN カード通信インタフェースを持つ入出力機器を接続し、入力機器からの信号を入力し、入力データをデジタル値にてパソコンのハードディスクに収録する工業用ペン式記録計（ペンレコーダ）です。

MSRpro-Server（以降の記述は Server にて行います。）は、入力データの収集、収録、演算を行うソフトウェアです。データの表示は MSRpro-Client/Analyzer で行います。両者の設定は MSRpro-Builder（以降の記述は Builder にて行います。）にて行います。

MSRpro-Report（以降の記述は Report にて行います。）は、Server で収録したデータを使用して日報、月報、年報の各種帳票を自動作成するソフトウェアです。Report の設定は Report 用ビルダソフトウェアにて行います。

MSReco は、Server にて収録したデータを使用してデマンド監視表示を行うソフトウェアです。

MSReco 専用のデータを保持しますので、MSReco のデータ表示のみ行う MSReco-Client を用意しました。MSReco は、MSRpro のクライアントソフトウェアであると同時に、MSReco-Client のサーバーソフトウェアになります。



1.2. ご使用上の注意事項

- (1)MSRpro は、Windows7 Professional、Windows10 Pro、Windows11 の環境で動作するよう、規約に従ったアプリケーションソフトとして設計されています。MSRpro は最短 0.1 秒周期で入力信号処理と全画面の記録描画を繰り返し実行するため、パソコンに一定の負荷をかけます。したがって、CPU 能力とグラフィック能力の高いパソコンのご使用をお勧めします。
- (2)MSRpro が動作している状態で、他のアプリケーションを使用しないでください。
- (3)MSRpro の記録計としての信頼性は、使用するパソコンの OS を含む信頼性に依存します。運用にあたって、この点にご配慮ください。長期間運用する場合は、定期的にメンテナンスを行ってください。
- (4)MSRpro は 1 台のパソコンで 1 つの Window でご使用ください。複数 Window での使用や、LAN での共有はできません。
- (5)電源設定の項目は、すべて「なし」に設定してご使用ください。また、システムスタンバイ等の設定にしないでください。
- (6)スクリーンセーバは無地のものをご使用ください。アニメーションなどを採用するとデータの収録を取りこぼすことがあります。
- (7)デスクトップに必要以上のショートカットや実行ソフトウェアを置かないでください。インターネット関連コンテンツの実行アイコンは、できるだけ削除してご使用ください。描画の乱れが発生する場合があります。
- (8)データ収録中にパソコンの時刻を変更しないでください。時刻を変更する場合は、一旦 MSRpro を終了させてください。(ただし、インターネットの時刻同期や手動での時刻合わせなどによる数分の時刻変更の場合は除きます。)
- (9)MSRpro を使用するネットワークは、他のネットワークと分離してご使用ください。他のネットワークと混合した場合には、相互に動作が不安定になる等の影響を受ける場合があります。
- (10)本製品は他のアプリケーションプログラムと共存させた場合、動作を保証するものではありません。
- (11)次に示すような環境では、ご使用にならないでください。
 - ①本マニュアルに記載の無い条件や環境での使用
 - ②原子力関係施設、鉄道施設、航空施設、車両、燃料装置、医療機器、娯楽機械、安全機器など、関係法令に基づいて安全性の確保が必要な場合での使用
 - ③人命や財産に大きな影響が予測され、特に安全性が要求される用途への使用

2. ご使用になる前に

2.1. インストール／アンインストール

2.1.1. インストール

MSRpro-Server をインストールすると、自動的に MSRpro-Builder もインストールされます。
MSRpro-Report をインストールすると、自動的に MSRpro-ReportBuilder もインストールされます。

CD をドライブに挿入すると、自動的にインストールを案内する画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールを実行してください。既に MSRpro がインストールされている場合は、一旦 MSRpro をアンインストール(削除)した後、再インストールしてください(2.1.2 項参照)。

CD をドライブにセットしても自動的に立ち上がらない場合は、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から次の手順で実行してください。

1. Windows のアプリケーションの追加と削除は、コントロールパネルにあるアイコンをクリックして作業を進めます。
2. CD 内の SETUP プログラムが動作し、MSRpro のインストールを実行します。
3. その後のインストールは、表示される画面の指示に従ってください。
4. インストールが終了すると、プログラムメニューに“MSRpro-V□”メニューが作成されます。

2.1.2. アンインストール

1. 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から MSRpro-V□ を選択します。
2. 「変更／削除」を選択し、画面の指示に従って MSRpro-V□ を削除します。

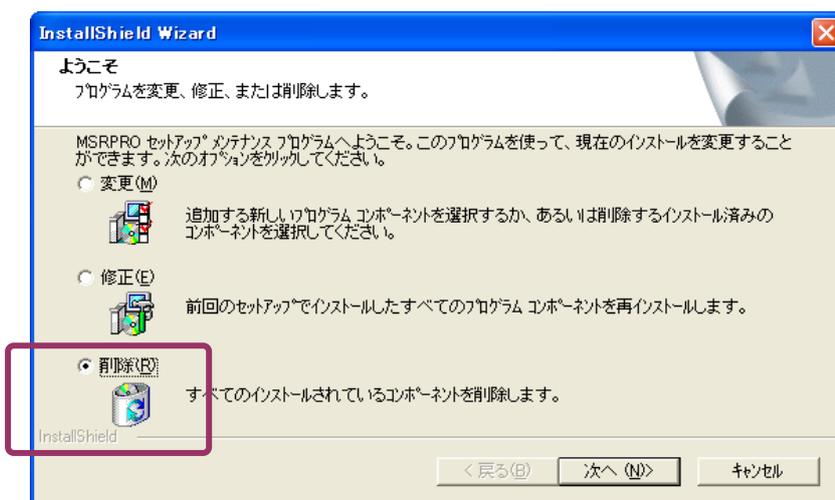


図 2-1

3. 直流電圧を測定する例

R3 シリーズを使用して、電圧入力をグループ 1 に 8 点分収録し、画面に表示するまでの操作例を説明します。3.1 項から順に操作してください。

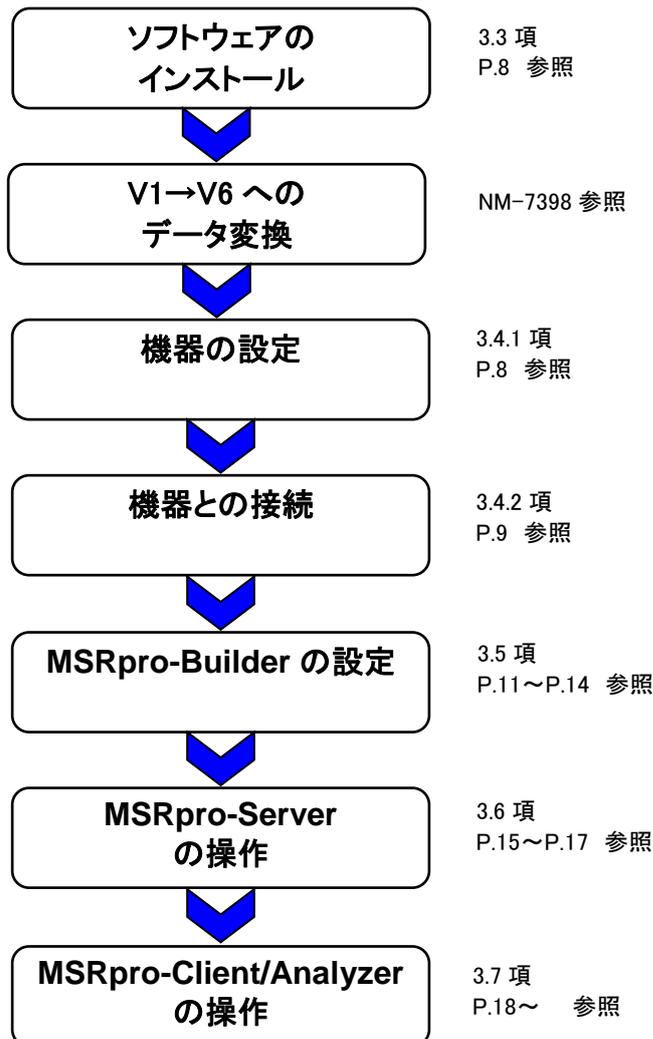
3.1. 接続構成

次の入力機器の構成で接続する場合の設定方法を説明します。

I/O 1	I/O 2	I/O 3	I/O 4
R3-SV8 直流電圧入力	R3-DC16 接点出力	R3-NE1 Ethernet 通信	R3-PS1 電源
R3-BS04 ベース			

3.2. 操作の流れ

収集を始めるまでの操作の流れを説明します。



3.3. ソフトウェアのインストール

①サーバーとクライアントを別のパソコンで使う（推奨）

クライアントのみインストールしたパソコンで、ネットワーク上にあるサーバー用パソコン（サーバーのみインストールしたパソコン）で収録したデータを表示する場合は、サーバー用のパソコンには MSRpro-Server と MSRpro-BUILDER を、クライアント用のパソコンには MSRpro-Client/Analyzer または MSRpro-Report、MSReco をインストールしてください。インストール方法は 2 章をご参照ください。

②サーバーとクライアントを 1 つのパソコンで使う

MSRpro-Server と MSRpro-Client を 1 つのパソコンにインストールして使用する場合は、MSRpro-Server、MSRpro-Client/Analyzer または MSRpro-Report、MSReco の両方のアプリケーションをインストールしてください。インストール方法は 2 章をご参照ください。

※サーバーとクライアントを 1 つのパソコンで使用する場合は、収録点数 512 点以下でご使用ください。

注意 サーバーをインストールすると、自動的にビルダーがインストールされます。

3.4. 接続

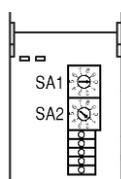
3.4.1. R3-NE1 の機器の設定

1. R3-NE1 の設定

①IP アドレスの設定

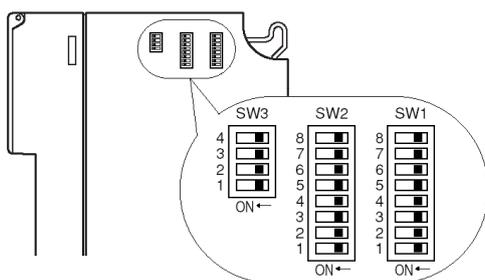
R3-NE1 の IP アドレスは、コンフィギュレータソフト（形式：R3CON）を使用して設定します。

②ノードの設定



前カバーを開けて、[SA2]のロータリースイッチを[1]に設定します。
[SA1]は[0]のままです。

③占有エリアの設定



スロット 1 の占有エリアを 8 に、スロット 2 の占有エリアを 1 に設定します。（設定方法は、R3-NE1 取扱説明書をご参照ください。）

2. 入出力カードの設定

各取扱説明書をご参照の上、ご使用状況に合わせて設定を行ってください。その際、変換速度は 1 番速い設定にしてください。

注意

ネットワーク変換器（形式：72EM（2）-M4）を使用して R1M シリーズ等と接続する場合は、各取扱説明書をご参照ください。

3.4.2. 各機器との接続

パソコンと機器との接続は、**必ず専用のネットワーク上で行ってください。社内 LAN 等で接続しないでください。また、ファイアウォールやセキュリティソフトの設定は全て無効にしてください。**なお、ネットワークの設定は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

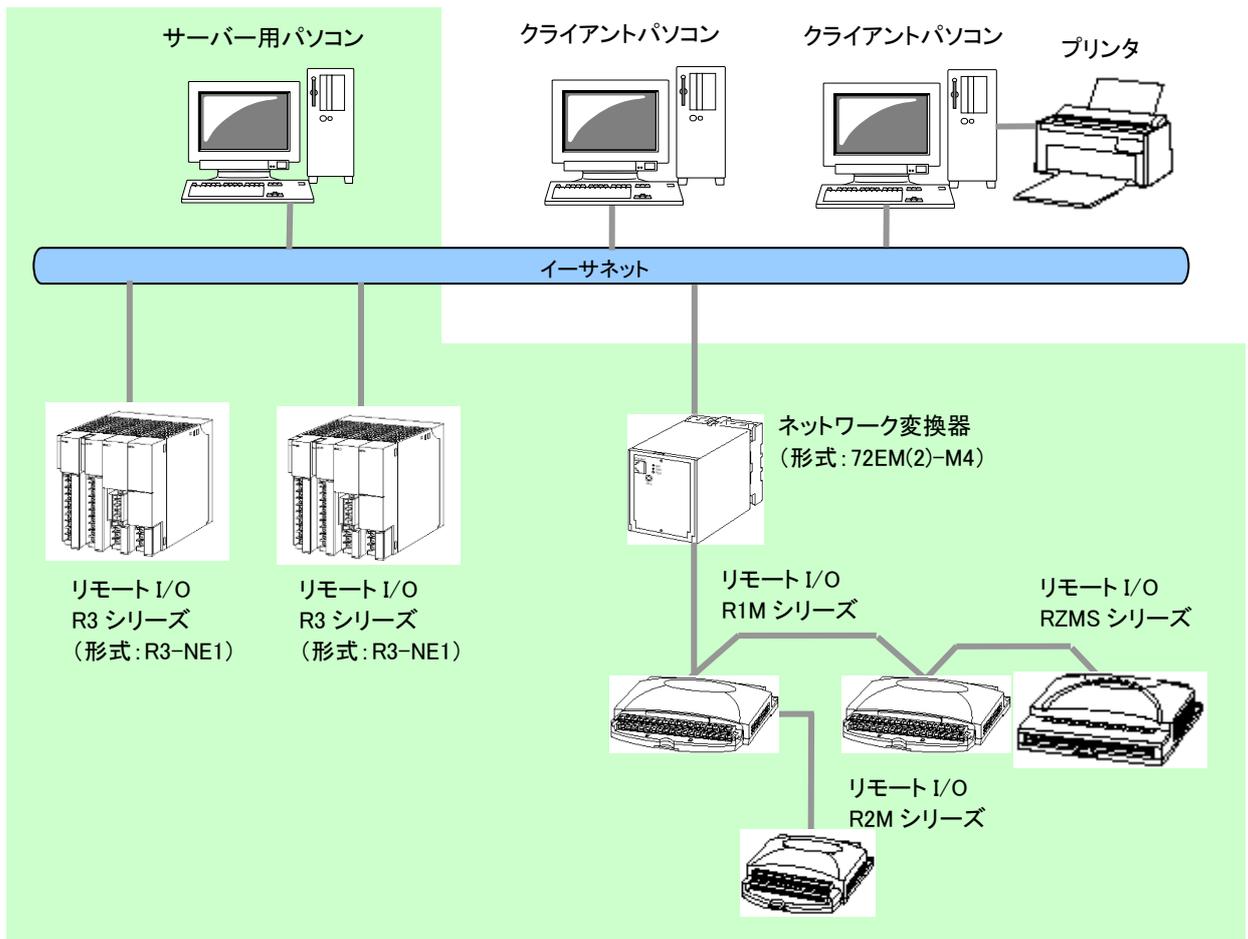
※ウィルスチェック用のアプリケーションが有効になっている場合は、無効に設定してください。

※HUB を使用する場合は、通信速度 100Mbps のスイッチング HUB をご使用ください。

①サーバーとクライアントを別のパソコンで使う（推奨）

クライアントのみインストールしたパソコンで、ネットワーク上にあるサーバー用パソコン（サーバーのみインストールしたパソコン）で収録したデータを表示します。パソコンと R3 シリーズ Ethernet 通信カード（形式：R3-NE1）を図 3-1 のように LAN ケーブルで接続します。

クライアント用のパソコンは、**最大 4 台まで接続可能です。**



注 1: パソコンと機器との接続は必ず専用のネットワーク上で行ってください。

注 2: クライアント用パソコンは最大 4 台まで接続可能。

注 3: 機器の最大接続数は収録モードの設定により変わります。

注 4: 52U を Modbus 接続するには、Modbus モジュール (形式: 52U-TM) が必要です。

注 5: 72EM-M4 の場合は、V1.01.03 以降をご使用ください。

注 6: HUB をご使用の場合は、通信速度 100Mbps 以上のスイッチング HUB をご使用ください。

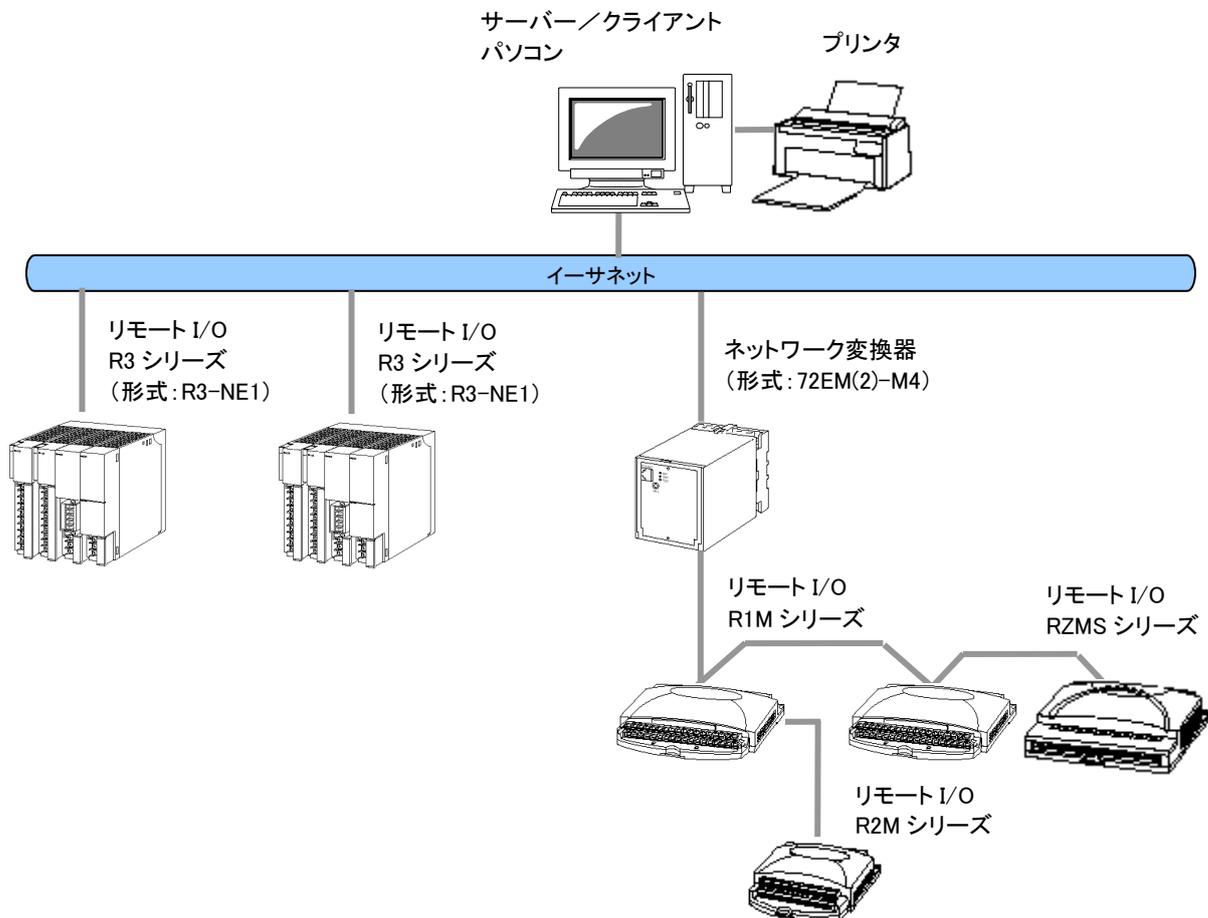
注 7: 高速モードでご使用の場合は、1 ステーションに 1 ノードのみ接続可能です。

図 3-1

②サーバーとクライアントを1つのパソコンで使う

パソコンとR3シリーズ Ethernet 通信カード(形式:R3-NE1)を図 3-2 のように LAN ケーブルで接続します。パソコンと R3-NE1 とを直接ケーブルで接続する場合は、クロスケーブルをご使用ください。

※サーバーとクライアントを1つのパソコンで使用する場合は、収録点数 512 点以下に設定してください。



注 1: パソコンと機器との接続は必ず専用のネットワーク上で行ってください。

注 2: 機器の最大接続数は収録モードの設定により変わります。

注 3: 72EM-M4 の場合は、V1.01.03 以降をご使用ください。

注 4: HUB をご使用の場合は、通信速度 100Mbps 以上のスイッチング HUB をご使用ください。

注 5: 高速モードでご使用の場合は、1 ステーションに 1 ノードのみ接続可能です。

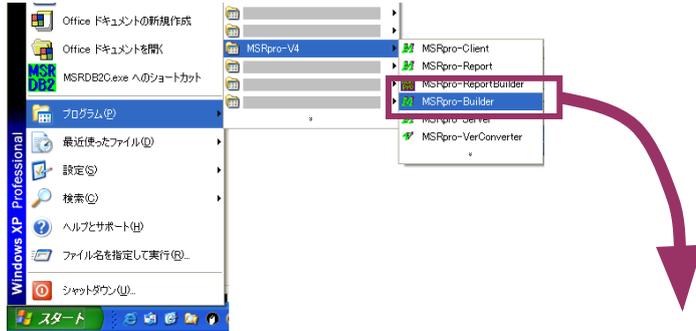
図 3-2

3.5. MSRpro-Builder の操作

接続が終了したら、[スタート]-[(すべての)プログラム]-[MSRpro-V6]-[MSRpro-Builder]を選択し、MSRpro-Builder を起動し、設定を行います。クライアントのみ動作させる場合はこの作業は必要ありません。3.7 項からご参照ください。

図 3-3 は Builder 画面の各部の名称です。3.5.1 項から順に各種設定を行ってください。

(使用するパソコンの OS が Windows7、Windows10、Windows11 の場合、管理者として実行してください。管理者として実行する方法は「5.1 管理者権限で実行」を参照ください。)



システム設定ボタン
通信設定やデータ保存先などを設定します。

グループ設定ボタン
収録周期や収録方法などを設定します。

ペン、アラーム設定(個別)ボタン
ペン設定、アラーム設定を行います。

アクティブトレンド表示設定ボタン
アクティブトレンド画面の背景色やマスクなどを設定します。

アナライザ表示設定ボタン
アナライザ画面の背景色などを設定します。

設定ファイル書き出し／読み込みボタン
設定ファイルの保存や読み込みを行います。

パスワード設定
ビルダおよびサーバーのパスワード設定を行います。

×ボタン
クリックすると画面を閉じます。

ステーション&ノード設定ボタン
ステーションやノードなどを設定します。

ペン、アラーム設定(一括)ボタン
ペン設定、アラーム設定を一覧表示で一括設定します。

トレンド表示設定ボタン
トレンド画面の背景色やグラフ表示などを設定します。

オーバービュー表示設定ボタン
オーバービュー画面の背景色やグラフ表示などを設定します。

グラフィック表示設定ボタン
グラフィック画面の背景や表示部品などを設定します。

設定情報出力ボタン
Builder で設定した情報を CSV ファイルで出力します。

適用ボタン
サーバー動作中に設定した内容を反映します。(サーバー起動中に有効表示になります。)

閉じるボタン
クリックすると画面を閉じます。

図 3-3

3.5.1. システム設定

- ①システム設定ボタンをクリックします。(図 3-3 参照)
- ②動作モードを[通常]に設定します。
- ③収録モードを設定します。

データの収録周期を 100msec、500msec に設定する場合は、[高速]を、1 秒以上に設定する場合は[中速]を、5 秒以上に設定する場合は[低速]を選択します。収録モードにより接続可能な機器の形式、台数等が決定します。詳細は MSRpro-Builder 取扱説明書 (NM-7405-A)をご参照ください。
- ④データ保存先を設定します。

[データフォルダ]欄に直接入力するか、参照ボタンで選択してください。図 3-4 は、Cドライブの下の MSRpro フォルダにデータ保存する場合を示しています。
- ⑤ネットワーク上の共有フォルダを設定します。

■サーバーとクライアントを別のパソコンで使用する場合は、[ネットワーク上の共有名]にネットワーク上のデータ保存先をコンピュータ名から設定します。保存先は、**必ず共有フォルダになっていることを確認してください。(ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。)** 図 3-4 は、「Shikenki」というパソコンの MSRpro フォルダの場合を示しています。

■サーバーとクライアントを同じパソコンで使用する場合は、**④のデータフォルダで設定したフォルダと同じ保存先を、必ず指定してください。**
- ⑥帳票を作成する場合は設定します。

サーバーデータから帳票作成する場合は、[帳票機能を使用する]にチェックを入れ、使用するグループ数を入力してください。
帳票を作成しない場合はチェックを入れないでください。
- ⑦[OK]ボタンをクリックします。
- ⑧MSRpro-Server が収録したサンプリングデータを CSV ファイルにて収録を行う場合「CSV ファイル出力」にチェックを入れてください。

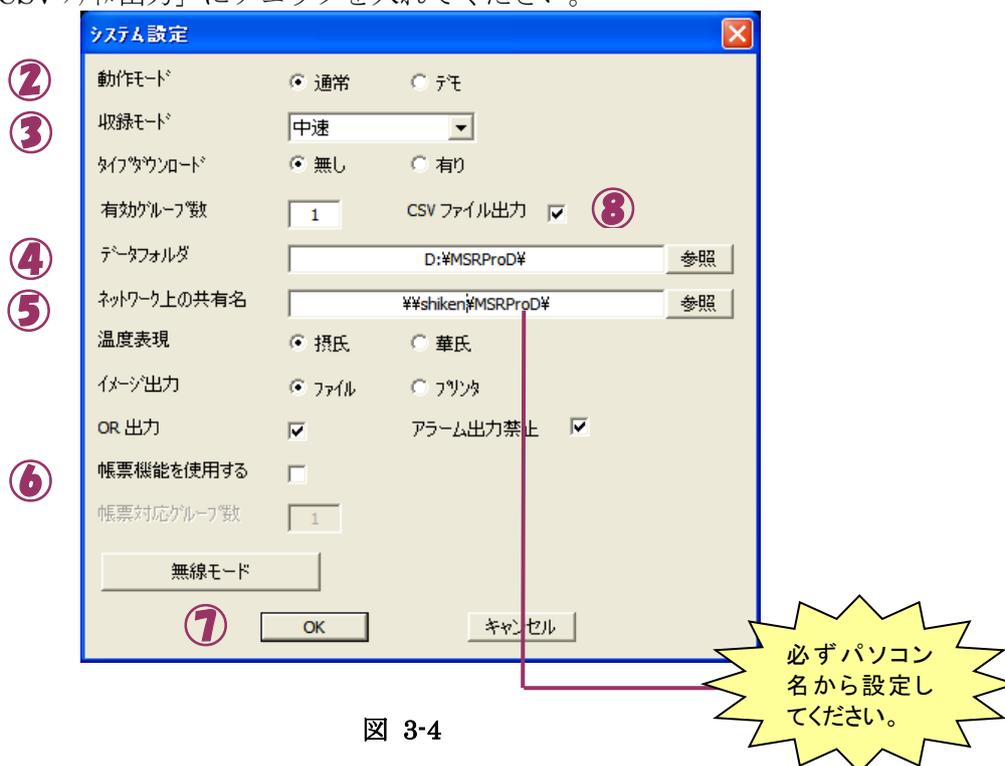


図 3-4

3.5.2. ステーション&ノード設定

- ①ステーション&ノード設定ボタンをクリックします。(図 3-3 参照)
- ②有効ボックスにチェックを入れる
- ③[TCP/IP]にチェックを入れ、[IP アドレス]欄に、接続する R3-NE1 の IP アドレスを入力します。
- ④ノード 1 の▼をクリックし、[R3-NE1]に設定します。
- ⑤[OK]ボタンをクリックします。

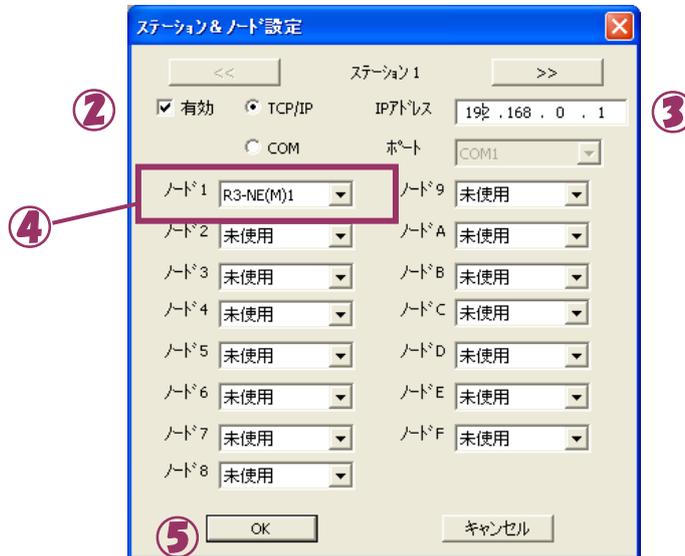


図 3-5

3.5.3. グループ設定

- ①グループ設定ボタンをクリックします。(図 3-3 参照)
- ②収録周期を選択します。
動作モードを[高速]に設定した場合は 0.1 秒、0.5 秒～、[中速]に設定した場合は、1 秒～10 分、[低速]に設定した場合は 5 秒～10 分の設定が可能です。
- ③収録方法を選択します。
▼をクリックし、[通常収録]を選択します。
収録方法は通常収録の他に、トリガ連動、トリガ収録、自動収録、アナログ条件収録があります。他の収録にする場合または詳細は、MSRpro-Builder 取扱説明書(NM-7405-A)をご参照ください。
- ④[OK]ボタンをクリックします。

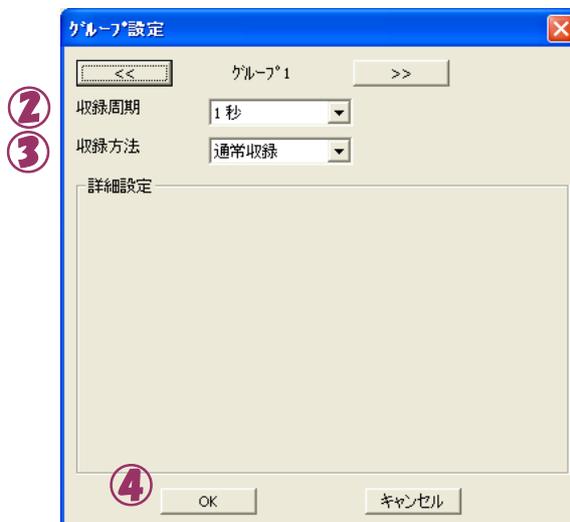


図 3-6

3.5.4. ペン設定

- ①ペン設定(個別)ボタンをクリックします。(図 3-3 参照)
グループ 1、ペン 1 のペン設定画面が表示されます。
- ②[有効/無効]は[有効]に、[表示/非表示]は[表示]に、[アナログ/デジタル]は[アナログ]に、
[入力/演算]は[入力]に、それぞれ設定します。
- ③タグ名称、工業単位を入力します。
- ④ステーション[1]、ノード[1]、チャンネル番号[1]を入力します。
- ⑤入力レンジ、スケール、プロット範囲を設定します。
- ⑥[>]ボタンをクリックします。



図 3-7

- ⑦グループ 1、ペン 2 のペン設定画面が表示されます。
- ⑧ペン 1 と同様に設定し、[チャンネル番号]に[2]を入力します。
- ⑨ペン 8 まで同様に設定し、[OK]ボタンをクリックします。

**以上で MSRpro-Builder の設定は終了です。
[閉じる]ボタンを押して画面を終了してください。**

注意

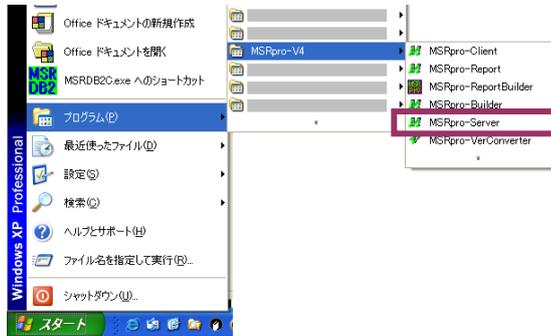
ここでは、[トレンド表示設定]、[アクティブトレンド表示設定]、[アナライザ設定]、[グラフィックパネル設定]などについては説明していません。詳細設定については、MSRpro-Builder 取扱説明書 (NM-7405-A)をご参照ください。

3.6. MSRpro-Server の操作

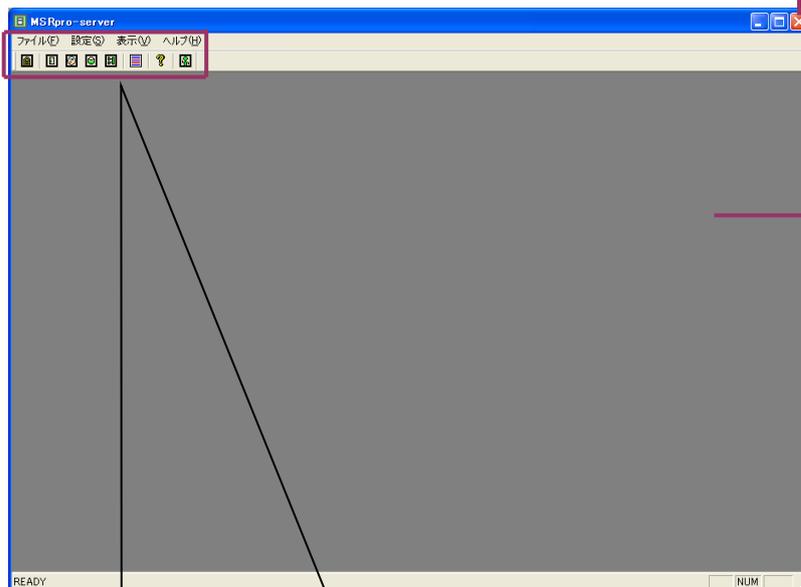
3.6.1. MSRpro-Server 起動

MSRpro-Builder での設定が終了したら、[スタート]-[(すべての)プログラム]-[MSRpro-V6]-[MSRpro-Server]を選択し、MSRpro-Server を起動します。クライアントのみ動作させる場合はこの作業は必要ありません。3.7 項からをご参照ください。

(使用するパソコンの OS が Windows7、Windows10、Windows11 の場合、管理者として実行してください。管理者として実行する方法は「5.1 管理者権限で実行」を参照ください。)



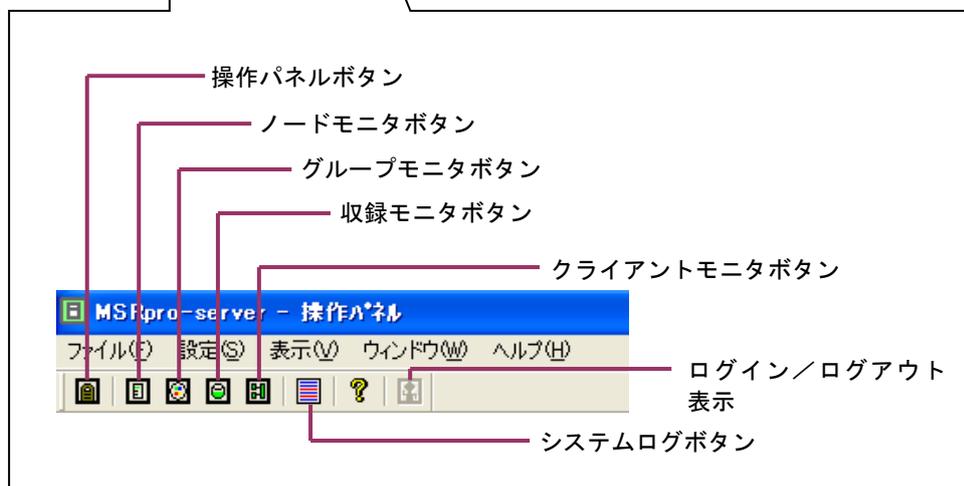
パネル表示
操作パネルなどの画面を表示するボタン群



×ボタン
クリックすると画面を閉じます。

画面表示域
操作パネルなどの画面を表示します。

図 3-8 サーバー起動画面



3.6.2. 機器との接続を行う

①画面左上の操作パネル画面表示ボタンを押して、操作パネル画面を表示します。



操作パネルボタン

②IP アドレスを確認し、接続ボタンを押します。接続を停止する場合は、停止ボタンを押します。

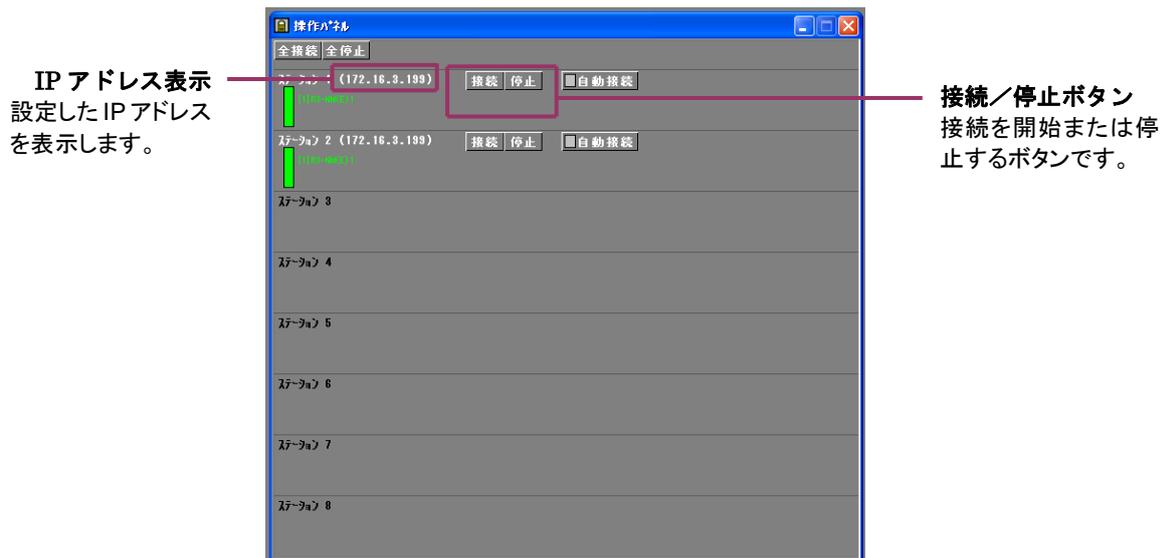


図 3-9

③通信が始まります。通信状態は、LED 表示で確認します。赤点滅時は通信エラーが発生していますので、通信状態を確認してください。
複数ステーションを接続中に、接続しているいずれかのステーションが通信異常等の場合、他のステーションも通信が異常となります。必ず全ての接続をご確認の上、収録してください。



注意 機器と接続後、設定変更した場合は、[停止]ボタンを押して停止させ、[×]ボタンで終了後、Server を再起動させてください。収録中に設定変更可能な設定項目を変更した場合は、「適用」ボタンをクリックし、設定内容を反映させてください。

収録を始める前に

Ver1.00□を使用後、Ver.6.00□にバージョンアップした場合、収録データのコンバートを行ってください。コンバートしていない場合、アナライザで過去データの表示ができません。コンバート方法は、Builder 取扱説明書 (NM-7405-A) をご参照ください。

3.6.3. データの表示

- ①データの収録状態を確認するには、グループモニタ画面表示ボタンでグループモニタ画面を表示します。



- ②データが表示されます。データが表示されない場合は、データ収録ができていない可能性があります。通信状態は正常か、収録方法は設定されているか確認してください。



図 3-10

サーバーの操作については以上です。詳細機能については、MSRpro-Server 取扱説明書(NM-7405-B)をご参照ください。データをトレンド表示する場合は、クライアントを使用します。サーバーは閉じずに最小化しておき、クライアントを起動してください。

3.7. MSRpro-Client/Analyzer の操作

3.7.1. MSRpro-Client/Analyzer の起動

収録データの波形表示、過去データの波形表示をするには、[スタート]-[(すべての)プログラム]-[MSRpro-V6]-[MSRpro-Client]を選択し、MSRpro-Client/Analyzer を起動します。
(使用するパソコンの OS が Windows7、Windows10、Windows11 の場合、管理者として実行してください。管理者として実行する方法は「5.1 管理者権限で実行」を参照ください。)

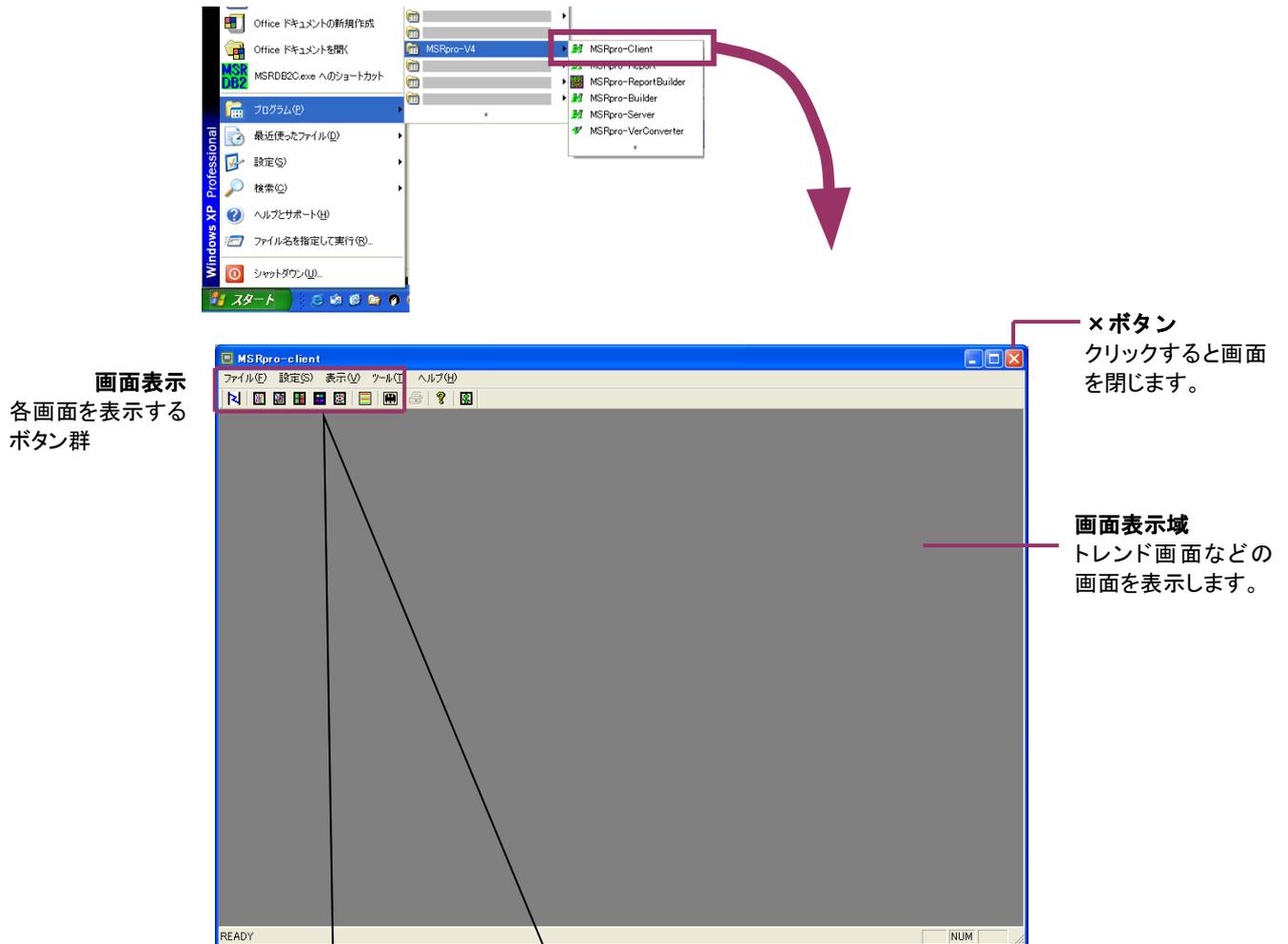
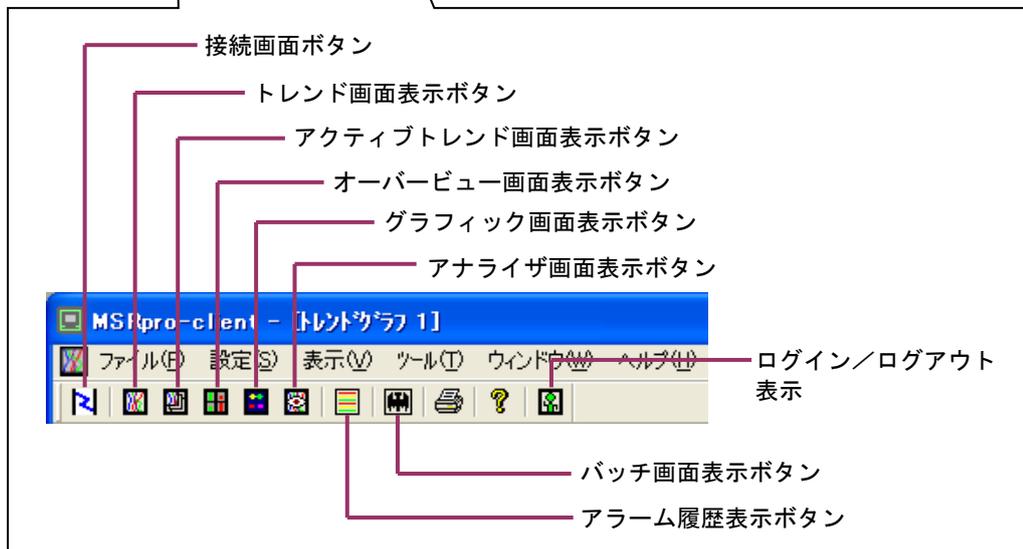


図 3-11



3.7.2. サーバーとの接続

①画面左上の接続ボタンを押して、接続画面を表示します。



接続画面ボタン

②接続画面の[サーバーIPアドレス]に MSRpro-Server が動作するパソコンの IP アドレスを入力します。次回起動時に自動でサーバーと接続する場合は[起動時自動接続]にチェックを入れてください。トレンドデータを表示する場合は[リアルタイム表示有]にチェックを入れてください。



図 3-12

③[接続]ボタンを押します。

④コメント枠に、「設定情報を取得中です。」→「トレンドバッファを取得中です。」のコメントが表示された後、コメントが消えると、接続完了です。

注意 パソコンやネットワークの環境により、データの取得にはしばらく時間がかかる場合があります。

⑤停止する場合は、[接続解除]ボタンを押します。



図 3-13

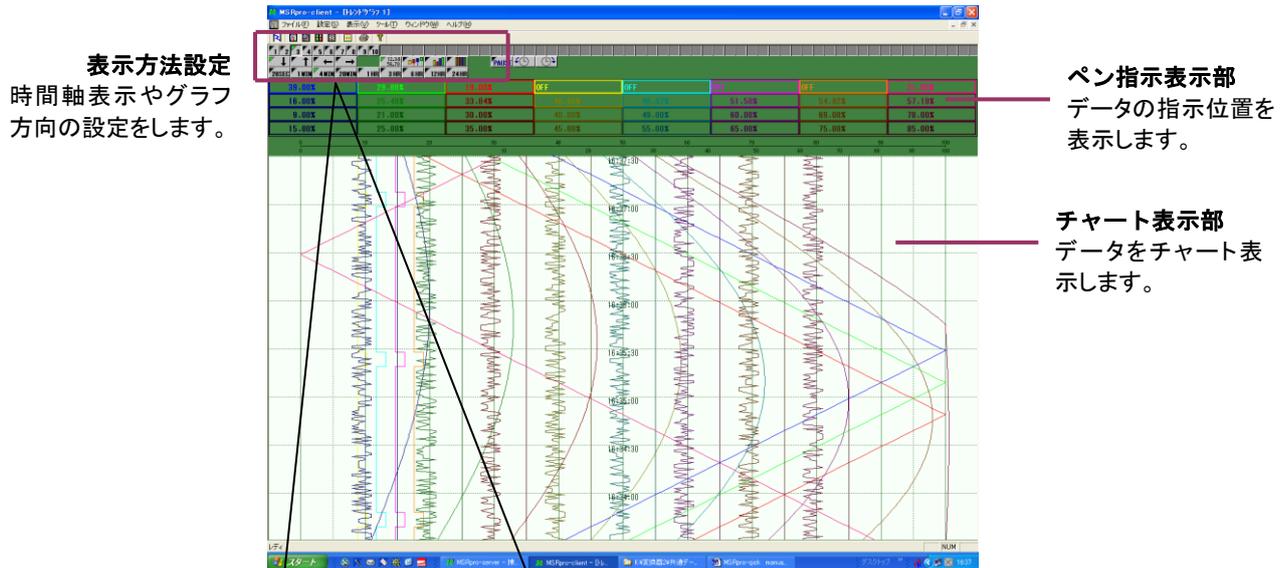
3.7.3. トレンド画面の表示

①画面左上のトレンドグラフボタンを押して、トレンドグラフ画面を表示します。



トレンドグラフ表示ボタン

②トレンドグラフ画面が表示されます。正常に接続できていれば、自動的に波形データを表示します。画面左上部のボタンで、時間軸やグラフ表示方向などの設定を行うことができます。

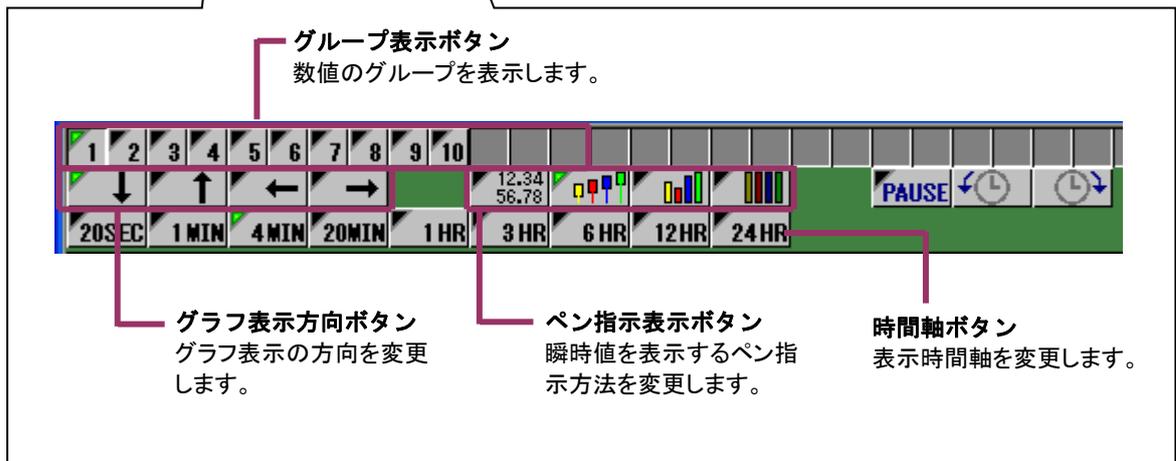


表示方法設定
時間軸表示やグラフ
方向の設定をします。

ペン指示表示部
データの指示位置を
表示します。

チャート表示部
データをチャート表
示します。

図 3-14



グループ表示ボタン
数値のグループを表示します。

グラフ表示方向ボタン
グラフ表示の方向を変更
します。

ペン指示表示ボタン
瞬時値を表示するペン指
示方法を変更します。

時間軸ボタン
表示時間軸を変更します。

3.7.4. 過去データの表示

①画面左上のアナライザボタンを押して、アナライザ画面を表示します。



アナライザ画面ボタン

②アナライザ画面が表示されます。

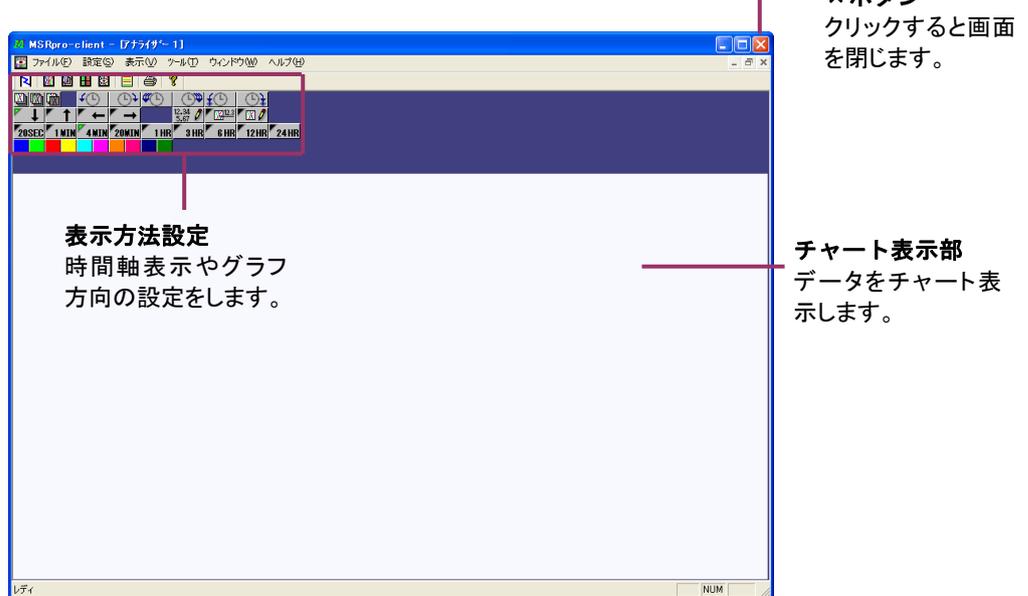


図 3-15

③過去データ表示選択画面をクリックします。



④種別を通常に設定し、表示するグループ、ファイルを選択して[OK]ボタンをクリックします。



図 3-16

⑤過去データが表示されます。画面左上部のボタンで、時間軸やグラフ表示方向などの設定を行うことができます。

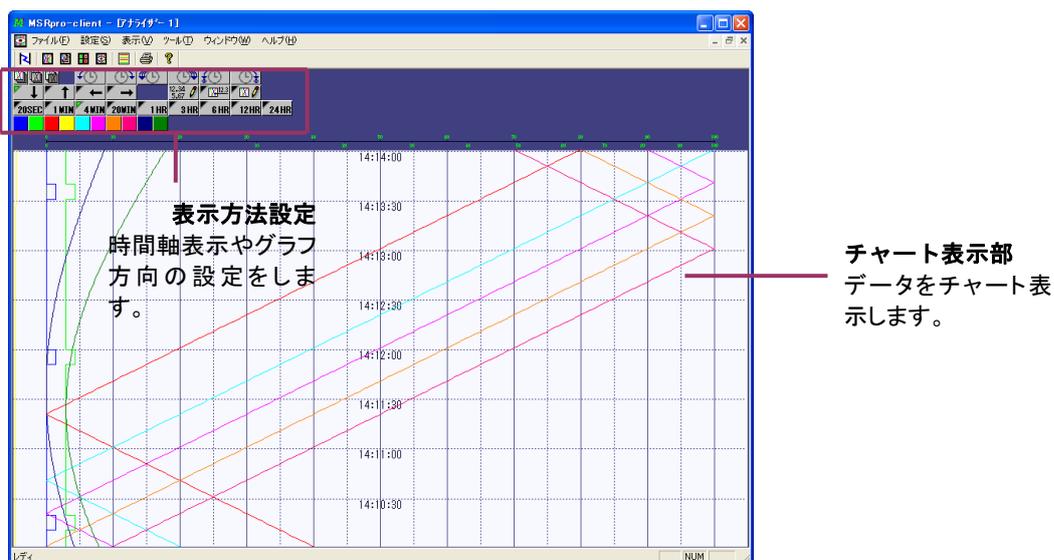


図 3-17

⑥[ウィンドウ]-[並べて表示]を選択すると、その他の画面を同時に並べて表示することができます。

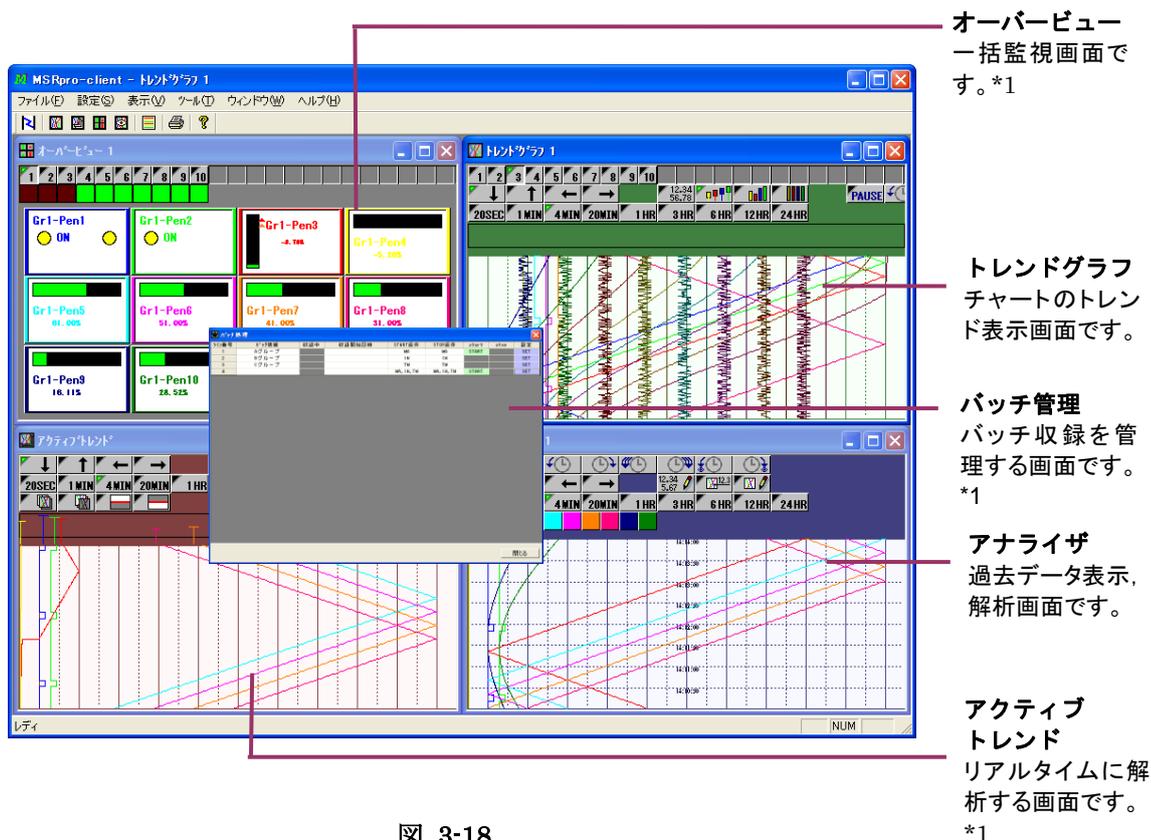


図 3-18

*1:ここでは説明を省略しています。

詳細は、MSRpro-Client/Analyzer 取扱説明書 (NM-7405-C) をご参照ください。

3.7.5. CSV データへの変換

- ①[ツール]-[CSV 変換ツール]を選択し、CSV データ変換ツールを起動します。
- ②CSV 変換ツール画面が表示されます。

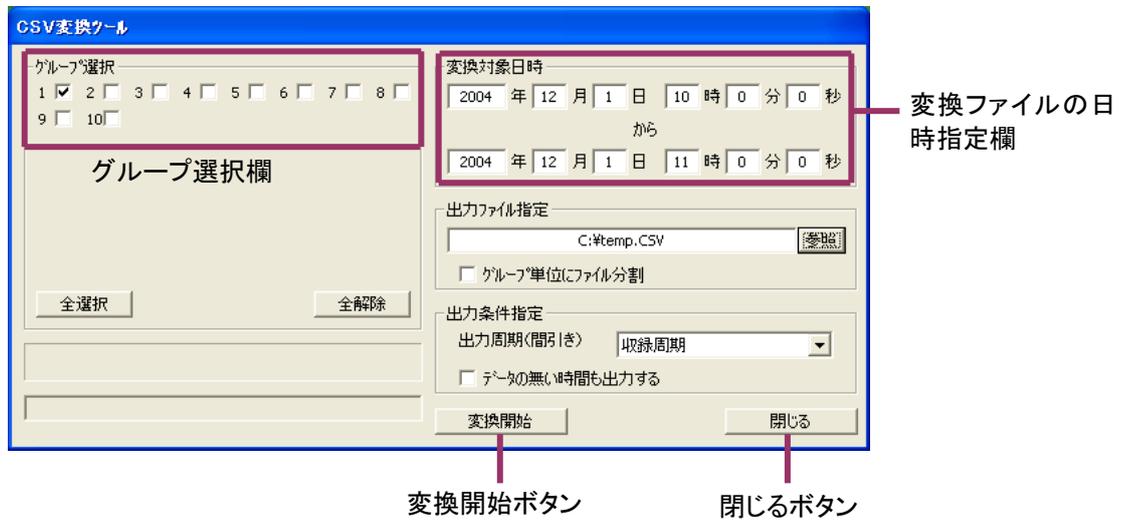


図 3-19

- ③CSV 変換するグループ、ファイル日時、出力先を設定し、[変換開始]ボタンをクリックします。

3.8. MSRpro-Report の操作

3.8.1. MSRpro-Report の起動

収録データの波形表示、過去データの波形表示をするには、[スタート]-[(すべての)プログラム]-[MSRpro-V6]-[MSRpro-Report]を選択し、MSRpro-Report を起動します。

帳票設定は帳票作成用ビルダソフトウェアにて別途行ってください。

(使用するパソコンの OS が Windows7、Windows10、Windows11 の場合、管理者として実行してください。管理者として実行する方法は「5.1 管理者権限で実行」を参照ください。)

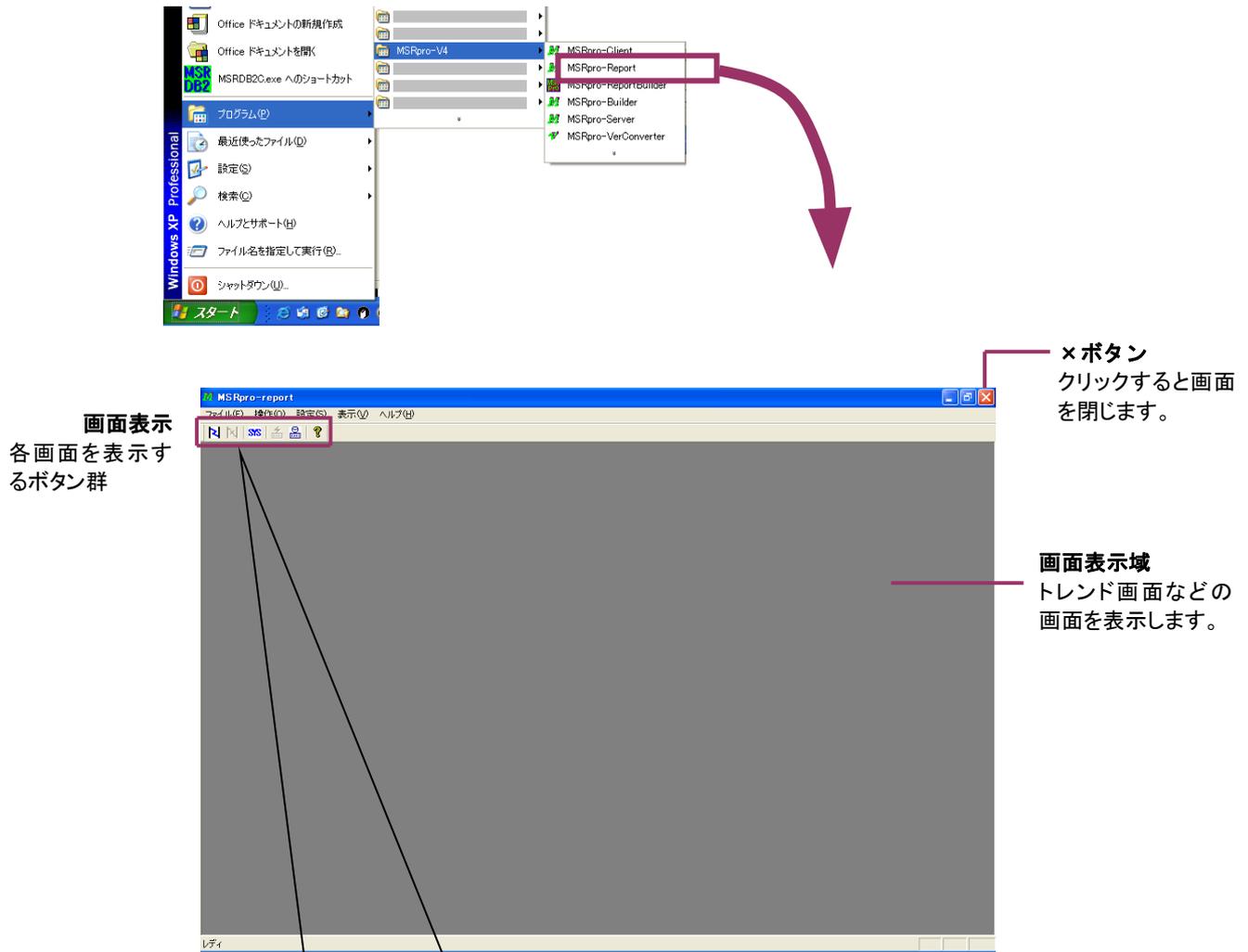


図 3-20



3.8.2. システム設定

メニューバーの[設定]ー[システム設定]または、ツールバーのシステム設定ボタンをクリックするとシステム設定画面を表示します。

Report は、サーバーが収録したデータを取得して帳票を作成します。そのため、帳票を作成するにはサーバーデータと接続する必要があります。システム設定画面では、接続するサーバーの情報などを設定します。

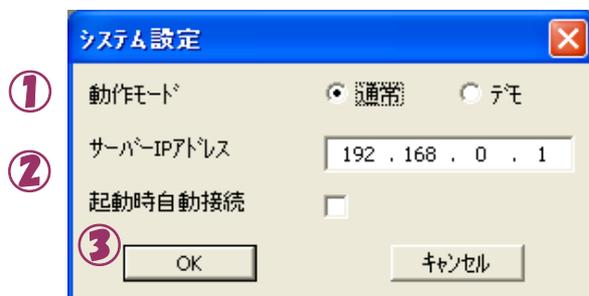


図 3-21

①動作モードの設定

サーバーの実データを収集して帳票を作成する場合は[通常]を、デモデータを使用して帳票を作成する場合は[デモ]に設定します。

②サーバーIPアドレスの設定

帳票作成に使用するデータが保存されているサーバー用パソコンのIPアドレスを入力します。次回起動時に自動でサーバーと接続する場合は[起動時自動接続]にチェックを入れてください。

③OK ボタンを押します。

3.8.3. サーバーとの接続

①画面左上の接続ボタンを押して、接続します。



接続ボタン

②接続が終了すると、「接続解除」ボタンと「サーバーデータ表示」ボタンが有効になります。接続が完了しない場合は、IP アドレスの確認を行ってください。



サーバーデータ表示ボタン
表示選択設定画面が開きます。

接続解除ボタン
クリックすると接続
を解除します。

注意 データの取得にはしばらく時間がかかる場合があります。

3.8.4. 帳票作成

①サーバーデータから帳票を作成する

サーバーデータから帳票を作成する場合は、[サーバーデータ表示ボタン]をクリックして、表示選択設定画面を開きます。

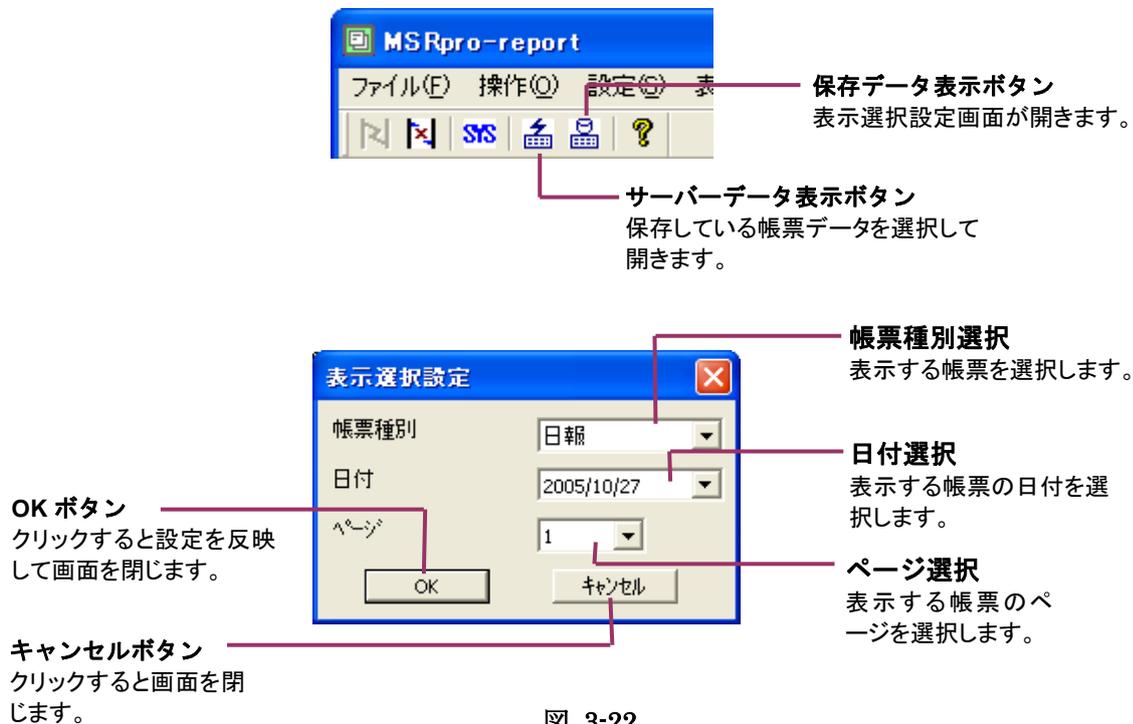


図 3-22

帳票種別、帳票を作成する日付、ページ数を設定し、OK ボタンをクリックすると、該当の帳票を作成して表示します。

時	2006年10月6日											
	Group1					Group2						
	平均値	最大値		積算率分		平均値	最大値		積算率分			
Pen1	Pen2	Pen3	Pen4	Pen5	Pen6	Pen7	Pen8	Pen9	Pen10	Pen11	Pen12	
1	V	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
1	0.410	11.250	21.90	13.23	23.55	91.08	69.03	4.95	91.50	29.69	1.45	43.55
2	84.970	47.710	18.42	55.37	47.67	9.00	37.88	35.93	15.11	78.61	80.60	11.85
3	63.340	15.380	2.88	15.38	36.55	25.91	87.27	43.43	62.02	40.88	17.18	0.53
4	66.600	1.08	61.18	88.78	97.62	4.87	5.23	26.34	34.01	37.83	9.12	
5	91.690		90.40	20.82	40.31	16.55	37.28	15.87	42.72	97.89	61.39	8.08
6	57.240		89.42	29.29	205.200.000.00	74.10	48.93	99.14	0.95	52.95	24.23	18.32
7	14.350		92.44	65.41	23.91	63.59	45.48	95.03	3.29	64.23	92.39	5.45
8	63.880		55.41	48.33	11.50	75.34	24.83	74.48	25.46	50.02	59.96	43.13
9	69.620		74.45	11.15	69.41	5.37	76.07	52.00	63.62	5.85	66.97	77.56
10	44.640		3.25	45.91	17.28	15.48	24.21	34.58	43.86	41.52	25.29	69.31
11	57.080		58.30	94.59	39.68	64.83	43.10	66.18	89.76	2.85	25.49	95.58
12	87.450		37.25	27.04	24.20	75.95	66.17	5.90	84.33	70.88	74.27	36.46
13	32.010		4.23	95.01	11.07	40.41	28.13	97.95	96.69	14.26	99.66	79.92
14	68.270		53.03	39.77	1.91	86.02	95.14	47.58	1.42	86.17	30.49	4.81
15	99.610		50.05	23.06	80.07	43.50	43.09	52.91	38.44	37.57	1.93	41.44
16	49.010		11.01	19.75	13.97	2.91	78.16	86.89	14.16	88.92	31.96	39.96
17	29.950		43.91	23.86	64.57	6.36	66.95	7.98	19.81	9.32	32.97	2.22
18	19.420		35.49	66.21	22.87	93.74	74.91	80.09	19.88	41.69	4.16	79.29
19	42.270		95.23	91.45	77.51	100.01	63.00	71.57	3.22	51.54	32.86	21.61
20	54.360		95.23	69.24	3.83	45.96	52.49	4.72	86.51	57.21	61.05	55.95
21	23.910		49.94	90.72	49.45	40.21	66.19	38.22	0.21	71.89	44.88	4.50
22	45.940		95.51	62.70	89.09	73.48	13.56	85.38	66.99	99.76	62.82	13.75
23	39.020		97.55	58.29	22.08	81.99	27.98	22.92	36.57	13.29	24.55	4.66
24	1.530		11.42	67.77	97.98	96.68	3.03	60.38	84.76	23.68	57.34	20.44
合計	119.570	85.250	1188.44	1178.21	205.200.000.00	1129.78	1128.92					
平均	49.649	28.783	49.82	48.14	8.560.040.54	47.07	47.44	49.39				
最大	99.610	47.710	99.54	99.30	205.200.000.00	96.68	95.14	97.95				
最小	0.410	15.380	1.08	11.15	1.91	2.91	0.53	4.12				

図 3-23

クライアントの操作については以上です。詳細機能については、MSRpro-Client取扱説明書(NM-7405-C)またはMSRpro-Report取扱説明書(NM-7405-E)をご参照ください。MSReco、MSReco-Clientの操作方法については、各取扱説明書をご参照ください。

4. アラームを設定する

アラーム設定方法の操作例を紹介します。詳細設定方法は、MSRpro-Builder 取扱説明書(NM-7405-A)をご参照ください。

4.1. アナログアラームを設定する

4.1.1. MSRpro-Builder の設定

- ①MSRpro-Builder を起動し、アラーム設定(個別)ボタンをクリックします。
- ②アラーム設定するペンを選択し、表示させます。
- ③[リミット値]に、アラーム発生時の閾値を実量値で入力します。
- ④不感帯が必要な場合は[不感帯]に実量値で設定します。
- ⑤接続しているR3-DC16にアラーム出力する場合、アラーム出力先設定欄にR3-DC16のチャンネル番号を設定します。今回の場合、ch65～80 が割り付けられます。
- ⑥[OK]ボタンを押します。

アラーム設定(個別)

<< グループ1 >> ジョブ*

< ペン1 >

サービス名

リミット値 20 40 60 80 (0~10000)%

正常域 0% 100%

不感帯 %

リレー1 2 3 4

リレー2

リレー3

リレー4

アラームメッセージ出力 / ボンブアッ*

上り

下り

色編集

OK

キャンセル

図 4-1

4.2. デジタルアラームの設定

- ①MSRpro-Builder を起動し、アラーム設定 (個別) ボタンをクリックします。
- ②アラーム設定するペンを選択し、表示させます。
- ③ON 時にアラーム出力する場合は、オン時アラーム出力の[出力]にチェックを入れます。OFF 時にアラーム出力する場合は、オフ時アラーム出力の[出力]にチェックを入れます。

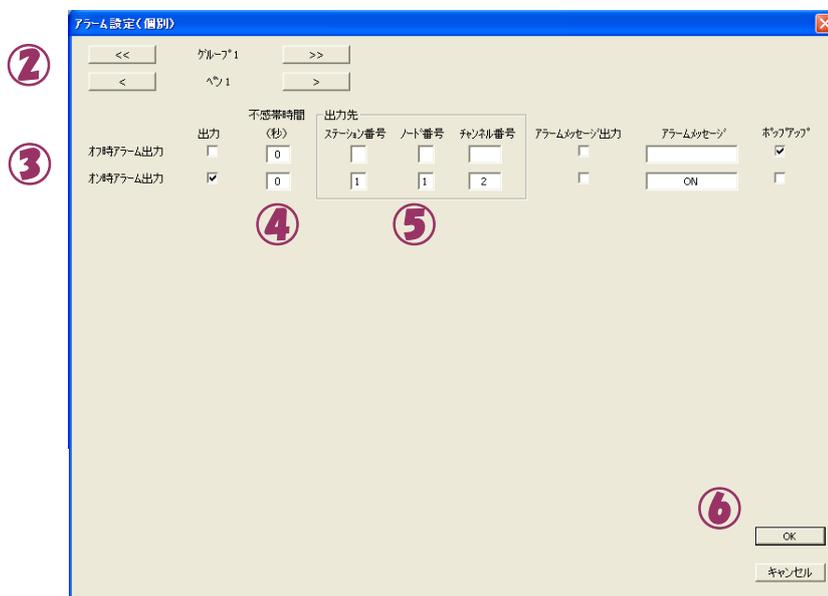


図 4-2

- ④遅延時間が必要な場合は[遅延時間]に秒数を設定します。
- ⑤接続している R3-DC16 にアラーム出力する場合、アラーム出力先設定欄に R3-DC16 のチャンネル番号を設定します。
- ⑥[OK]ボタンを押します。

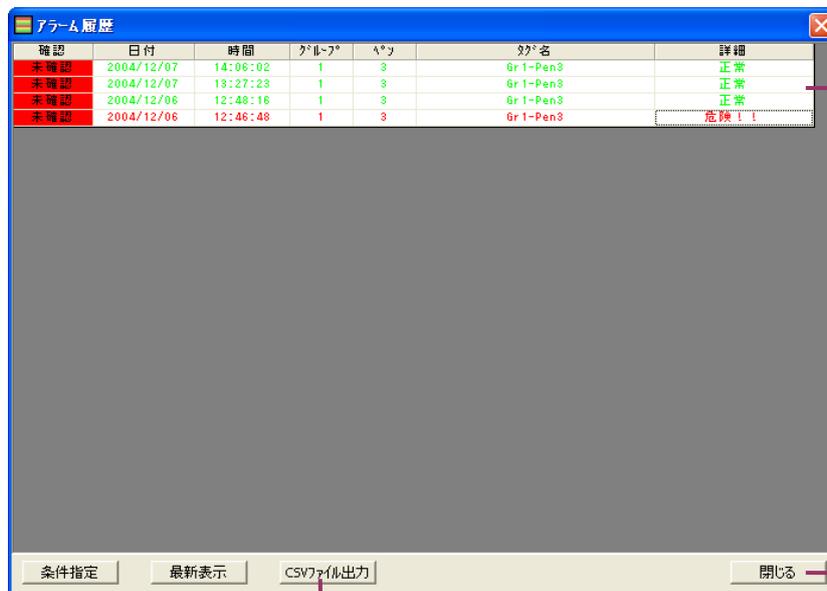
4.2.1. アラーム履歴の表示

①画面左上のアラーム履歴ボタンを押して、アラーム履歴を表示します。



アラーム履歴ボタン

②発生したアラームリストが表示されます。



アラーム履歴表示
アラームの履歴を表示します。

閉じるボタン
画面を閉じます。

CSV ファイル出力ボタン
アラーム履歴を CSV ファイルに変換して保存します。

5. 付録

5.1. 管理者権限で実行

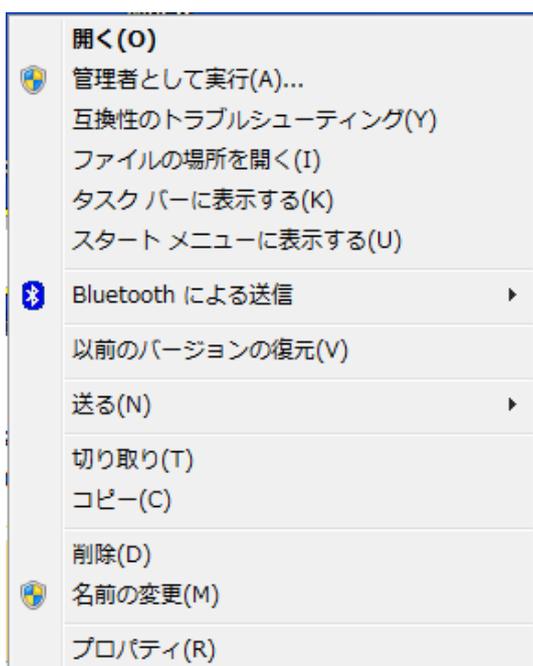
・Windows7 の場合

「プログラムメニュー」の「MSRpro-V6」から「MSRpro-Builder」を右クリックすると、下図のようなメニューが表示されます。このメニューの管理者として実行を選択すると、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されます。「はい」を選択すると管理者権限でソフトが起動されます。

* 常に管理者権限で起動する方法

下図のメニューの「プロパティ」を選択し、プロパティ画面の「互換性」タブを開きます。

特権レベルの「管理者としてこのプログラムを実行する」をチェックします。以降、このプログラムは管理者権限で起動されます。



* 個々のパソコンによってメニューの内容が異なります。

・Windows10 の場合

「プログラムメニュー」の「MSRpro-V6」から「MSRpro-Builder」を右クリックすると、下図のようなメニューが表示されます。このメニューの「管理者として実行」を選択すると、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されます。「はい」を選択すると管理者権限でソフトが起動されます。

* 常に管理者権限で起動する方法

下図のメニューの「ファイルの場所を開く」を選択し、表示されたエクスプローラー画面上でプログラムファイルを右クリックします。表示されたメニューから「プロパティ」を選択し、プロパティ画面の「互換性」タブを開きます。設定の「管理者としてこのプログラムを実行する」をチェックします。以降、このプログラムは管理者権限で起動されます。



・Windows11 の場合

「プログラムメニュー」の「MSRpro-V6」から「MSRpro-Builder」を右クリックすると、下図のようなメニューが表示されます。このメニューの「管理者として実行」を選択すると、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されます。「はい」を選択すると管理者権限でソフトが起動されます。

*常に管理者権限で起動する方法

下図のメニューの「ファイルの場所を開く」を選択し、表示されたエクスプローラー画面上でプログラムファイルを右クリックします。表示されたメニューから「プロパティ」を選択し、プロパティ画面の「互換性」タブを開きます。設定の「管理者としてこのプログラムを実行する」をチェックします。以降、このプログラムは管理者権限で起動されます。

-  管理者として実行
-  ファイルの場所を開く
-  スタートにピン留めする
-  タスクバーにピン留めする
-  アンインストール